

令和3年度
事業報告書

施設名：たかし保育園鎌ヶ谷大仏

令和4年3月31日
社会福祉法人茂原高師保育園
理事長 篠田 哲寿

1. 管理業務の実施状況

①保育時間

	保育標準時間	保育短時間
平日・土曜	7:00～18:00	8:30～16:30

②特別保育事業

延長保育事業 (平日・土曜)	保育標準時間：18:00～19:00 保育短時間：7:00～8:30 16:30～19:00 ・延長保育利用状況については毎月の報告書参照
-------------------	---

③クラス体制および利用状況

めばえ組…0歳児
ふたば組…1歳児
わかば組…2歳児
しげり組…3歳児
いぶき組…4歳児
みのり組…5歳児

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員	6	14	16	18	18	18	90
2年4月	6	14	18	18	19	19	94
3年3月	9	14	18	18	18	19	96

④職員体制 (3/31時点) ※ () はパート職員

園長	1名	保高
主任	1名	小野
保育士	17名	佐藤 前花 小川 鈴木 浅川 篠塚 木下 大坪 大沼 川嶋 渡辺 岩佐 八武崎 田所 山口 高島 格和
保育補助	7名	(舟田) (大山) (鈴木) (山下) (中尾) (田畑) (中尾)
栄養士	2名	吉元 後藤
調理員	1名	菅谷
用務員	1名	(渡辺)
保育支援員	1名	(鈴木)

2. 年間行事実施状況

4月	進級式 慣らし保育
5月	こどもの日の集い 田植え 野菜の苗植え
6月	尿検査
7月	プール開き 歯科健診 歯科指導 夏祭り
8月	内科健診 すいか割り おばけやしき
9月	お月見の会 (クラス毎)
10月	稲刈り おにぎりパーティー 芋掘り
11月	運動会 秋の遠足
12月	総合避難訓練 クリスマス会 (クラス毎) 鏡餅づくり
1月	お正月あそび 内科健診
2月	発表会 節分
3月	ひなまつり (クラス毎) お別れ会 卒園式
毎月実施	誕生会 (クラス毎) 遊びのぼけっと 避難訓練 身体測定 幼児クラス: 体操教室 (月2回)
その他	実習生受け入れ

3. 職員研修実績

【外部研修】

月	件数	研修参加者
7月	2件	八武崎 渡辺
9月	2件	浅川 高島
10月	3件	山口 川嶋 岩佐
12月	4件	岡本 篠塚 大坪 田所
1月	1件	田所

【会議実績】

会議名	実施頻度	対象者
職員会議	毎月1回	全職員
乳児会議	毎月1回	園長 主任 乳児クラス担任
幼児会議	毎月1回	園長 主任 幼児クラス担任
給食会議	毎月1回	園長 主任 栄養士 調理師 各クラス担任
アレルギー会議	毎月1回	栄養士 アレルギー児クラス担任
園内研修	毎月1回	全職員 (各グループごと)

4. 運営費執行状況（決算書）

別紙「決算書 令和元年度（自）令和3年4月1日（至）令和4年3月31日」参照。

5. 評価および反省

令和3年度も新型コロナウイルスの流行により感染対策に重点をおき、保育を進めていきました。感染対策からクラス単位での活動が中心となり、異年齢での交流ができなかったり、手をつなぐことや歌をうたうこと、給食が黙食だったり人と人の交流に制限せざるを得ない状況が続き大変な1年間でした。

職員間では、細かなことでも日々伝達し、声を掛け合い話し合う時間を短くたくさん設けるようにしました。情報を共有することで各クラスの様子や保護者との関りも深まり信頼関係が作られていきました。若手職員の育成についても個々との関りを大切にしながら小さなことでも誉め、悩んでいる場面では共に話し合い共有することを繰り返していったことで、自分で解決する力や保育に対して向上心が身につけていきました。

今年度は、園内研修に力を入れました。3グループに分かれ経験年数8年目以上をグループリーダーと決め、日々の保育の悩みやテーマを決め2か月に1回研修を行いました。目的としてグループリーダーとしての自覚を育てること、クラス以外の職員とコミュニケーションを持つこと、研修内容について関心を深めること。どのグループも内容について研究を深め、保護者支援として内容を発信したり、子どもたちに伝えたりすることができました。日々の保育の悩みを伝え合うことで自分だけではない、みんな同じように悩みを抱えているということも共有することで若手の職員も前向きになることができました。グループリーダーも話を聞くことで経験を生かしたアドバイスができていました。来年度は、中堅保育士に力を入れていきたいと思えます。

子どもたちは、恵まれた環境の中、戸外遊びを中心に十分に遊びを楽しみ安定した生活ができました。子ども主体の保育を心がけることで、子どもたちが自信をもって毎日の生活を楽しんでいる様子がありました。保護者の方にも写真や文章で発信することで、保護者の方が参加できる行事が少なくなりましたが安心していただくことができたと思えます。